

# 小田原映画祭の歩み

2004.4 小田原映画祭始動  
第1回小田原映画祭実行委員会発足

2004.10 プレイベント  
銅門上映会 崔洋一監督「クイール」



2005.2 第1回小田原映画祭シネマトピア2005開催



映画祭では、[小田原ゆかり][戦争と平和]等をテーマに、約40本の映画を上映。同時にショートフィルムコンテストも実施。

2006.2 小田原映画祭プレイベント2006開催

プレイベント2006は、女性映画4本立。第1回コンテスト受賞監督の新作も上映。  
話題の新作試写会も行われた。阿藤快さんのトークショーも開催。



2006.6 第2回小田原映画祭実行委員会発足

2007.2 第2回小田原映画祭シネマトピア2007開催

3日間にわたり、10本以上の映画を上映。世界最先端の機材を使用したデジタル上映も行う。  
また、前回同様にショートフィルムコンテストも実施。



2007.4 映画祭準備会発足

第3回小田原映画祭の開催及び継続的な活動を実施する為、準備会を立ち上げる。

2008.7 特定非営利活動法人の立ち上げに合意

2009.2 特定非営利活動法人 おだわらシネマトピア設立

特定非営利活動法人

おだわらシネマトピア

入会のご案内

NPO法人おだわらシネマトピアは、  
「映画を通じて…」  
ふるさと小田原の魅力を発見、発信していきます。

NPO法人おだわらシネマトピアは、  
若手監督、映像作家の発掘等、  
映画を通じて人を育む活動をしていきます。

## 皆様へ

日本で唯一、映画フィルムを製造している富士フィルムと縁が深い小田原は、映画産業と文化に古い歴史を持ちながら、多くの市民がそれをよく知らないのが現実です。

古くは「天国と地獄」から「世界の中心で、愛をさけぶ」「武士の一分」など、小田原で撮影された名画・話題作も数多く、近年のフィルムコミッション活動の中でさらに新しい作品がこの地から生まれています。また小田原出身、ゆかりの映画人も数多くいらっしゃいます。

このように、古くから積み重ねられた小田原の「映画」産業・文化の伝統を映画祭の開催等を通じ、小田原市民に広く知っていただき、映画文化の継承を願って、今回『特定非営利活動法人 おだわらシネマトピア』を発足させた次第でございます。

まずはじめに、第3回小田原映画祭開催実現に全力を尽くして参ります。

何卒、私たちの志をご理解いただき、ご入会いただきますようご案内申し上げます。  
理事一同

# 特定非営利活動法人おだわらシネマトピア について

名称: 特定非営利活動法人(NPO法人) おだわらシネマトピア

目的: 1 芸術文化、芸術の振興を図る活動  
2 まちづくりの推進を図る活動  
小田原市民及び周辺地域の住民に対して、映画及び映像などの作品を上映、鑑賞、製作、映像文化の啓発に関する事業を行い、映像芸術を通じて小田原市民及び周辺住民の、ゆとり教育・文化活動の活性化、広く映像文化の振興と人材育成・啓発に寄与する事を目的とする。(定款より)

事業計画:

- 1 小田原映画祭の開催  
野外上映会、ショートフィルムコンテスト、小田原ゆかりの映画上映ほか。
- 2 保育所、図書館、養護施設など地域における映画上映会の支援事業
- 3 調査、情報収集  
小田原市及び周辺地域が対象となった郷土にゆかりの文学・映像作品等の調査、データ収集事業
- 4 フィルムコミッション活動の支援事業

役員: 理事長1名、副理事長2名、理事3名、監事1名

会員: 【個人】正会員、賛助会員 【団体】正会員、賛助会員

入会金・年会費

【個人】 正会員	入会金1万円	年会費3千円
賛助会員	入会金3千円	年会費 千円
【団体】 正会員	入会金3万円	年会費1万円
賛助会員	入会金1万円	年会費3千円

事務局

住所: 〒250-0055 小田原市久野2232番地の7  
メールアドレス: info@odawaraeigasai.sakura.ne.jp

皆様のご入会を  
心よりお待ちしております。